

機関番号：31304

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008 ～ 2010

課題番号：20402046

研究課題名（和文）：

ベトナムにおける高齢期に必要な生活支援の調査に基づく介護福祉教育に関する研究

研究課題名（英文）：

A Study of Professional Education on Nursing Care for the Aged Based on Surveys of Supports for Living Required for Senior Citizens in Vietnam

研究代表者：生田目 学文（NAMATAME NORIFUMI）

東北福祉大学・総合マネジメント学部・准教授

研究者番号：40347901

研究成果の概要（和文）：著しい経済発展を遂げてきたベトナム社会主義共和国だが、高齢化と介護問題が重要課題となってきた。専門職の人材育成を必要としているが、本研究はその具体的な要望に応えることを目的とした。「都市部」および「農村部」の高齢者福祉施設の利用者および職員、ならびに高齢者世帯への聞き取り調査を行い、その分析結果を踏まえた研究成果を論文等で発表し、ホーチミン市において介護職員を対象に「介護福祉セミナー」（研修会）を実施した。

研究成果の概要（英文）：Socialist Republic of Viet Nam has achieved a drastic economic growth, but its aging society and nursing of senior citizens have become a serious issue. Vietnam needs the nurturing of professional and talented people, and this study aimed at responding such needs in concrete ways. We conducted interviews and researches to both users and staffs in nursing facilities in urban as well as suburb areas, and based on the analyses we published papers. We also held a "Nursing Care Seminar" for nursing staffs in Ho Chi Minh City.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
平成20年度	1,300,000	390,000	1,690,000
平成21年度	1,200,000	360,000	1,560,000
平成22年度	1,200,000	360,000	1,560,000
総計	3,700,000	1,080,000	4,780,000

研究分野：国際政治学・国際安全保障学

科研費の分科・細目：政治学・国際関係論

キーワード：(1) 社会福祉関係 (2) 国際社会福祉 (3) 介護福祉教育 (4) 高齢者福祉
(5) 人間の安全保障

1. 研究開始当初の背景

(1)ベトナムでは、1986年に市場経済と開放政策の導入を図る「ドイモイ」（刷新）を国家目標として宣言して以来著しい産業社会構造の変動をもたらした。しかしその一方では、「北部」「中部」「南部」地方また「都市

部」「農村部」の格差および基礎的な社会集団である「家族」の家族機能や地域社会の生活構造にも大きな影響をもたらした。

(2)ベトナムでは高齢化と介護問題が重要課題となってきた。とくに高齢者福祉の専門職の人材育成を必要としている。

2. 研究の目的

本研究は、都市部および農村部の高齢者福祉の実態を調査し、その結果を踏まえて、ベトナムの介護職員を対象とした介護福祉セミナーを実施、さらにその実績を将来のために記録することにより、ベトナムが求める具体的な要望に応えることを目的とした。

3. 研究の方法

「都市部」および「農村部」の高齢者福祉施設の利用者および職員、ならびに高齢者世帯への聞き取り調査を行い、その分析結果を踏まえた研究成果を論文等で発表し、ホーチミン市において介護職員を対象に「介護福祉セミナー」(研修会)を実施した。

4. 研究成果

(1) 下記に示すように、日本社会福祉学会・日本認知症ケア学会などで口頭発表を行い、東北福祉大学研究紀要に論文として発表した他、上記「介護福祉セミナー」でのアンケートでは高い評価を得た。

(2)平成 20 年度

研究初年度として、過去のベトナムでの研究および平成 19 年 9 月にホーチミン市内の高齢者施設で実施した調査研究(赤塚ならびに後藤 2 名による共同研究:自己負担)の結果を踏まえ、高齢者介護の問題点や課題を整理し日本社会福祉学会にて発表を行った。

平成 20 年 9 月ホーチミン市内にある高齢者福祉施設を利用している利用者および職員のインタビュー、さらに「都市部」と「農村部」で生活している高齢者夫婦世帯および高齢者単身世帯における「介護問題」の調査を行った。具体的に、下記調査研究を行い、東北福祉大学研究紀要に研究論文を発表した。

①ベトナムのセンサスを中心に人口動態、経済・社会状況についての分析。②ベトナムの高齢者問題に関する先行研究論文、著書、資料収集、高齢者の基本的な社会問題についての整理検討。③高齢者福祉施設における利用者の QOL に及ぼす要因について質問紙による聞き取り調査、参与観察。④高齢者施設で直接介護に従事する職員を対象に利用者の状態像と介護内容および介護の困難性について聞き取り調査実施。⑤介護職員の高齢者イメージ、介護肯定感、組織特性、仕事満足度等についての調査、その関係性の分析。⑥「都市部」と「農村部」で生活している高齢

者から質問紙による聞き取り調査、および追跡調査によるケース研究、ならびに高齢期における生活課題、生活支援(サポート)の条件について検討。⑦次年度の本格的な調査研究に繋がるための予備的調査について分析・考察を行った。

(3)平成 21 年度

初年度に実施した基礎的資料収集および「介護問題」に伴う調査研究を分析・考察した結果を踏まえ、ベトナムにおいて実態調査を実施した。

調査内容『独居高齢者の生活実態調査』都市部:ホーチミン市 30 世帯、農村部:ビントゥアン(Binh Thuan)省ハム・タン(Ham Tan)県ラジ(La Gi)町 30 世帯、合計 60 世帯(2009 年 9 月 11 日-18 日 生田目・赤塚・後藤)。これに基づき「要介護高齢者の効果的な理解」と「介護福祉教育」の実施方法について、以下の分析・考察を行った。

①高齢者施設の利用者の状態像と介護内容および介護の困難性についての調査、および介護職員の高齢者イメージ、介護肯定感、組織特性、仕事満足度等が介護の困難性を伴うか否かについての分析。②①の結果が利用者の QOL にどのように影響しているかについての分析。③②の結果を踏まえ、ベトナムの介護福祉教育の実施方法についての分析。④高齢者施設における利用者の QOL に及ぼす要因について質問紙による聞き取り調査、参与観察。⑤「都市部」と「農村部」で生活しているケース研究の対象者の高齢者から質問紙による聞き取り調査を行い、前年度と比較し、高齢期における生活課題、および生活支援の条件について分析した。⑥⑤の結果を踏まえて、施設職員が抱えている諸問題などを調査し、それが介護職員および利用者にもどのような影響を与えているかを分析した。⑦これまでの調査研究を踏まえた上での、ベトナムの介護福祉教育の実施方法の考察。⑧それに関連し世代間の高齢者介護に関する意識調査の分析。⑨「介護問題」を取り扱う上で基本的な概念である「人間福祉と人間の安全保障」について分析。上述した調査分析内容から、最終年度の研究に繋がる研究成果をまとめ、学会および研究論文において発表した。

(4)平成 22 年度

最終年度はこれまでの 2 年間に及ぶ調査研究の分析・考察のまとめとして位置づけ、高齢者福祉施設、関連機関を利用する高齢者および該当職員を対象に、「要介護高齢者の効果的な理解」「介護福祉教育」の実証的な検証を行なうために、高齢者福祉施設およびベトナム障害児・スポーツ教育協会ホーチミン市支部の協力を得ながら高齢者福祉セミナ

一を実施した。その際、調査票を活用して研修内容および専門職意識についてアンケート調査を実施し整理を行った。

今後の高齢者福祉施策の重要課題である「介護問題」に係わる「要介護高齢者の効果的な理解」と「介護福祉教育」方法を研究成果の一環としてベトナム国内の高齢者福祉関係者に明示し、専門職の人材育成に繋げることを提案する機会として位置づけた。具体的には以下の通りである。

①高齢者福祉施設およびベトナム障害児・スポーツ教育協会ホーチミン市支部の協力を得ながら「高齢者福祉セミナー」を実施した。その対象は(1)ホーチミン市内の高齢者福祉施設の職員(2)ホーチミン市内居住者およびハム・タン県内居住者。② ①の研修内容・方法について、研修評価を行った。③ ②の結果から今後のベトナムにおける「介護福祉教育」の具体的な内容について検討した。④ ②③の結果から、ベトナムの高齢期に必要な生活支援の介護福祉教育内容について分析した。これまでの3年間の研究結果を整理し、ベトナムにおける介護福祉教育について東北福祉大学研究紀要に研究論文にまとめた。⑤ 3年間の研究成果を本報告書としてまとめている。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計5件)

①後藤美恵子「ベトナム高齢者福祉施設における介護職員の職務意識の構造と要因分析－社会背景から捉えた高齢者対策としての専門教育の展望－」東北福祉大学研究紀要、査読有、第35巻(通巻38号)2010、pp. 127-145

②後藤美恵子「ベトナム高齢者福祉施設における介護職員の援助意識の構造」東北福祉大学研究紀要、査読有、第34巻(通巻37号)2009、pp. 103-120

③赤塚俊治「ベトナムの世代間における家族意識に関する研究－都市部と農村部の調査にも基づく考察－」東北福祉大学研究紀要、査読有、第34巻(通巻37号)2009、pp. 121-138

④生田目学文「人間福祉と人間の安全保障－接近する軍事と福祉の概念と実践－」東北福祉大学研究紀要、査読有、第34巻(通巻37号)2009、pp. 45-59

⑤後藤美恵子・赤塚俊治・生田目学文「ベトナムの高齢者福祉施設における介護職員の

実態と今後の展望－介護職員の職務意識と利用者理解についての調査に基づく人材育成への示唆－」東北福祉大学研究紀要、査読有、第33巻(通巻36号)2008、pp. 15-35

[学会発表] (計7件)

①後藤美恵子「ベトナム高齢者福祉施設における介護職員の社会意識と職務構造－人口構造・社会構造からみた高齢者対策としての専門教育の展望」第58回日本社会福祉学会、2010年10月10日、日本福祉大学

②後藤美恵子「ベトナム高齢者福祉施設における介護職員の援助意識の構造－社会背景から捉えた介護専門職養成の検討」第52回日本老年社会科学会、2010年6月18日、あいち健康プラザ

③後藤美恵子・赤塚俊治・生田目学文「ベトナムにおける介護職員の高齢者イメージからの示唆－介護福祉の概念形成への展望」第57回日本社会福祉学会、2009年10月10日、法政大学 多摩キャンパス

④赤塚俊治・後藤美恵子・生田目学文「ベトナムにおける世代間の家族意識に伴う国民生活への影響－都市部と農村部の意識調査を踏まえて」第57回日本社会福祉学会、2009年10月10日、法政大学 多摩キャンパス

⑤後藤美恵子「ベトナム社会主義共和国における介護職員の適応感と介護肯定感の関係－介護福祉の概念形成への示唆」第51回日本老年社会科学会、2009年6月20日、パシフィコ横浜・インターコンチネンタルホテル

⑥後藤美恵子・赤塚俊治・生田目学文「ベトナムの高齢者福祉施設における利用者の主観的 QOL からの生活評価－利用者の主観的 QOL の要因分析からの示唆」第56回日本社会福祉学会、2008年10月12日、岡山県立大学

⑦赤塚俊治・後藤美恵子・生田目学文「ベトナムの高齢者施設における介護職員の仕事満足度からの職務意識－介護職員の職務満足度から捉えた人材育成・養成への示唆」第56回日本社会福祉学会、2008年10月12日、岡山県立大学

6. 研究組織

(1) 研究代表者

生田目 学文 (NAMATAME NORIFUMI)

東北福祉大学・総合マネジメント学部・准教授

研究者番号：40347901

(2) 研究分担者

なし

(3) 連携研究者

赤塚 俊治 (AKATSUKA TOSHIHARU)
東北福祉大学・総合福祉学部・教授
研究者番号：40285656

後藤 美恵子 (GOTO MIEKO)
東北福祉大学・総合福祉学部・講師
研究者番号：50347902